

平成23年度 主な事業の要求・査定状況

主な事業とは、市が実施しようとする新規事業・投資的経費等を中心に抜粋したもので、市が行う全ての事業を掲載したものではありません。

消防局

(単位:千円)

担当課	事項	要求額	要求内容	査定額	査定理由
消防総務課	防災センター市民防災支援事業	15,397	市民防災力を強化するため、財団職員の知識と経験を活かした防災指導および応急手当普及啓発活動等を行なう市民防災支援事業を推進する経費	15,200	B
消防総務課	奈良市防災センター展示体験施設改修経費	8,768	奈良市防災センターの展示体験施設を、老朽化に伴い更新する。	0	E
消防総務課	消防施設整備事業	16,100	防災活動拠点である消防庁舎の改修整備事業	3,000	D
消防総務課	西消防署庁舎建設事業	82,066	奈良市西消防署建設事業	61,000	B
消防課	消防施設整備事業	5,020	消防団ポンプ格納庫に設置のサイレン等取付塔を、老朽化に伴い撤去新設する。	3,000	B
消防課	消防車両整備事業	246,050	長期の使用により機能が低下した消防車両を整備する。	190,600	D
消防課	小型動力ポンプ整備事業	13,864	長期の使用により機能が低下した消防団配備の小型動力ポンプを更新する。	6,000	D
消防課	防火水槽整備事業	35,750	大規模地震発生時に予想される、同時多発火災等に対する延焼拡大防止の強化を図るため、市内小学校2校に耐震性貯水槽を整備する。	28,050	B
消防課	消火栓整備事業	4,035	火災発生時に水利を有効かつ確実に確保するため、水道配管新設および布設替えに伴い、消火栓を整備する。	4,000	B
消防課	ポンプ格納庫整備事業	54,395	老朽化したポンプ庫を、地域消防団の機能向上のため建て替える。	39,000	B
消防救急課	ドクターカー運用における経費	13,058	市立奈良病院において、ドクターカーを運用する経費	9,160	B
指令課	消防通信指令総合システム関連機器整備事業	3,713	新規配備車両用の車載端末装置の整備および、平成24年3月末で通信事業者の通信方式が第二世代から第三世代へ移行することに伴う、車載端末装置等の対応機種への移行	3,594	B
指令課	無線設備整備事業	3,631	新規配備車両用として、デジタル・アナログ兼用無線機を整備し、また、指揮隊用として署活系無線機(アナログ400MHz帯)を整備する。	2,800	B

査定理由 A:要求どおり全額を認めているもの

B:単価・数量・金額を精査し、所要額を予算措置したもの

C:実施方法の変更や内容の見直しを行い、所要額を予算措置したもの

D:優先順位をつけ、一部を次年度以降に先送りしたもの

E:実施時期・事業効果の検討等、内容調整が必要と判断したもの

F:国の経済対策を活用して、一部を平成22年度に前倒ししたもの